

01

PLANNING

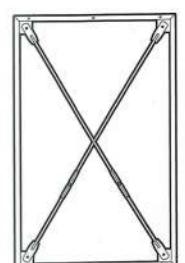


世田谷ベースに向かって右側
小屋があったところに
新しい司令室を建設しよう!!

畠と世田谷ベースの建物との間。そこが増築に与えられたスペース。約20坪という小さな場所ですが、そこで、限界まで効率を重視した設計を。世田谷ベースの増築プロジェクト開始します!!

世田谷ベースを増築する
デイトナハウスとは?!

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネル。『C チャンネル』と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cm の長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたバーは、『ブレース』と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。柱と梁と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。詳しい説明は後半にて!!



スは世田谷ベースと畠の間に、約8メートル、横3・5メートルの約20坪というスペース。農機具を収めている小屋が置かれ、その前にクルマが一台停められるようになつてある「あの場所」です。

そこに、既存の建物とくつづけるようなカタチで新たに建物を作り、一階と二階をぶち抜いて連結。室内空間をグッと拡大しようという魂胆なのであります。

世田谷ベースは、もともとアメリカの郊外にある小さな民間飛行場をモチーフに設計されています。建物の前に走る道は滑走路で、建物は飛行場の片隅にあるガレージという設定。そんな環境の中で増築するとなれば、やっぱり格納庫的な雰囲気が似合うはず。

格納庫で使用する為に米軍が開発したRスパンの屋根を使用し、内装には骨格を露出させて……。オトコっぽくて無骨な雰囲気は、今までの世田谷ベースには無い新しいイメージです。



家の建つ部分を深く掘って、基礎を作る準備。先に取り外した下水と雨水の配管は増築される部分を避けて、建物の脇を通るように埋設しました。グレーの砂利が敷き詰められた部分が基礎を作る場所となります。



コンクリートを流し込む準備。コンクリートを入れる部分を型枠で囲み、その中に鉄筋を張り巡らせていきます。準備ができたら、生コンを投入。気泡ができるよう、コンクリートを綺麗に流し込むのがプロの技。



第一段階終了。下地の基礎が乾燥したら、その上に、更に、コンクリートを流し込む準備を。スチール製のLGSパネルを止める為のボルトを基礎の中に埋め込むのですが、正確に位置を決めるために、ジグを使いながら計測していきます。

Another Story 小屋の移設も本気モード 完璧な基礎が完成



10年経過した小屋はいろいろな部分が傷んでいたようですが、「いくらなんでもこれじゃー、ダメだよ」ということで、大工さん達が小屋も修復してくれることに。水準器を使って本気モードの基礎作り。



鉄筋を張り巡らせ、LGSパネルと基礎の接合部となるボルト位置も全て決定。最後に生コンを流し込んで乾燥させたら基礎は完成。ページをめくると、いよいよ骨格の作業が始まります。



ユンボでペリペリとアスファルトを剥がす。大きな塊は細かく碎いてトラックへ。荷台はあっという間にいっぱい。トラック2台分のアスファルトを撤去完了です。



土が見えたら、今度は深く掘り下げて、増築する家の下に埋まっている雨水と汚水の配管を取り出します。

02 BASE

いよいよ工事開始!!
ガッちりとした基礎を作り上げるのだ!!

図面の製作も終わり、ついに工事開始。まずは、地中に埋まっている配管を移設し、その後基礎の製作に入ります。とりあえず、アスファルトを全て剥がすところから。沢山の重機が運び込まれ、迅速に作業が進んでいきます。



多くの重機がある中で、最も気になったのがミニユンボ。人間が乗るとまるでオモチャのようなサイズ感ではありますが、機能はデカイのに負けていません。価格は100万円程度。中古も沢山売りに出ています。ご家庭に一台いかがですか?

LGSパネル、筋交い、ジョイントと、トラックで運び込まれたバーツを組み上げていく順番に並べていきます。基本的に同じ形状のパネルを順番にくっつけていくという作業なのですが、開口部など、特殊な形状の部分のみ鉄骨をワンオフして製作しています。



バーツの全ては鉄骨なので、運搬はクレーンにて。職人さんの待っている位置に的確にパネルを運んでいくわけですが……。まさに神業です。



図面通りに設計されたパネルをひたすら順番にパズルのようにはめ込んでいく作業。現場での加工はほとんど無いので、組み立てに掛かる時間はとても短いです。なんと、骨格の立て込みに掛かった時間は約2日。短期間で施工できてしまうというのも、デイトナハウスの良いところ。



骨格を作った職人さん達は、デイトナハウスの施工になれているスペシャルチーム。手際よく、迅速に、作業は進んでいくのです。



2日目。すでに二階部分の鉄骨も全て仮組み終了。ここから筋交いを入れて、真四角になるようにアライメントを取り直します。



03
STRUCTURE

お家のカタチが見えてきた!!
LGSパネル施工開始

基礎が完成したら、LGSパネルの組み上げ。シンプルな作りなので、設計図通りにボルトで固定していくば、あれよあれよという間に、骨格が完成していくのです。